

(参考様式2)

社会資本総合整備計画

平成31年1月9日

Table with 14 columns: 計画の名称, 計画の期間, 計画の目標, 重点計画の該当, 交付対象, 青森市・弘前市・八戸市・黒石市・五所川原市・十和田市・むつ市・つがる市・平内町・今別町・蓬田村・外ヶ浜町・鱒ヶ沢町・深浦町・西目屋村・藤崎町・大鰐町・板柳町・鶴田町・中泊町・野辺地町・七戸町・おいらせ町・東通村・三戸町・南部町・階上町・新郷村・三沢市・田舎館村・横浜町・大間町・佐井村・東北町・田子町. Includes sub-tables for 計画の成果目標 and 定量的指標の定義及び算定式.

Main project list table with columns: 番号, 事業種別, 地域種別, 交付対象, 直接間接, 事業者, 道路種別, 省略工種, 要素となる事業名, 事業内容, 市町村名, 事業実施期間 (年度), 全体事業費 (百万円), 費用便益比, 個別施設計画策定状況, 備考. Lists 62 projects (14-A1 to 14-A62) across various municipalities.

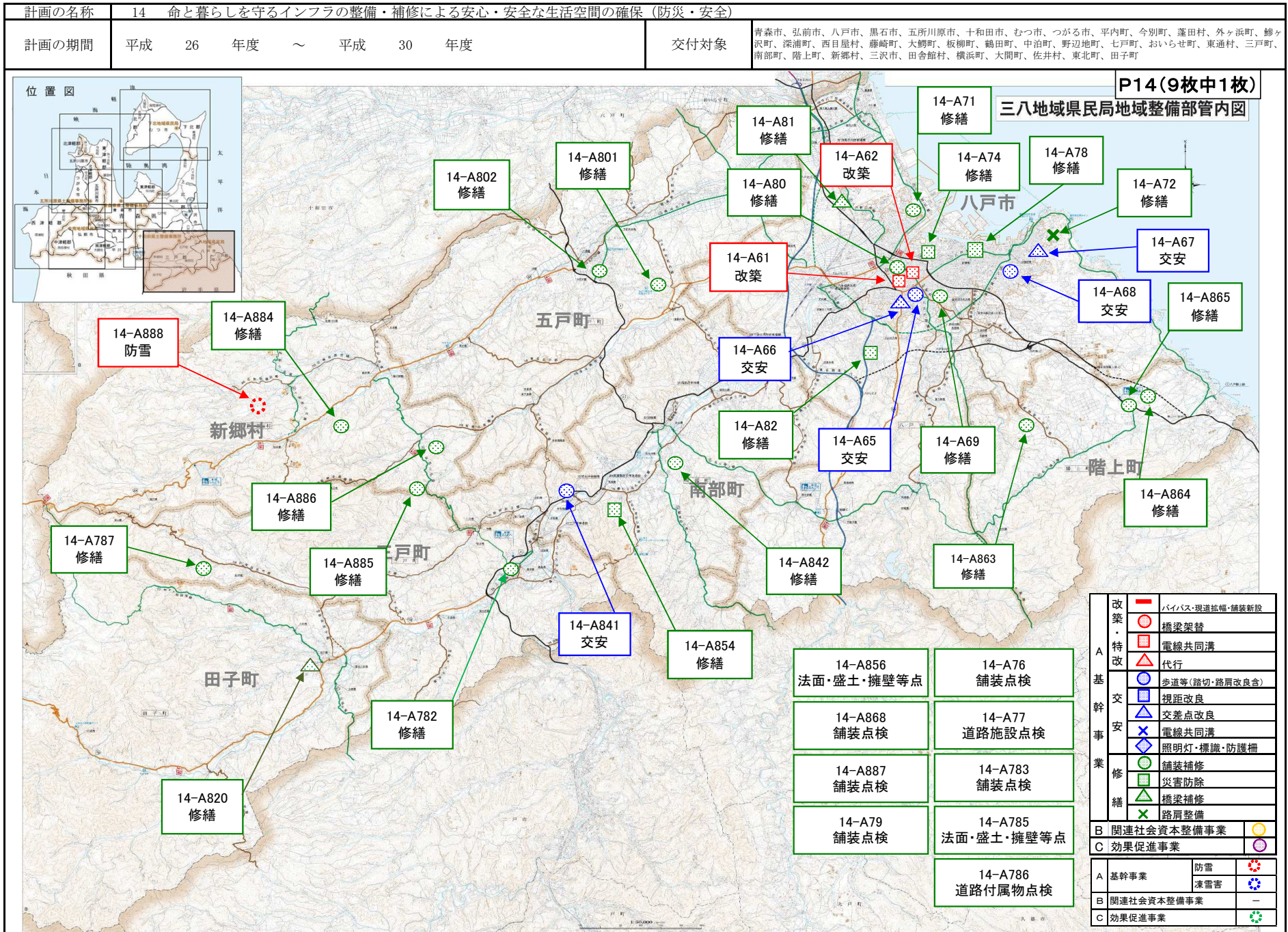
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	1,091	1,319	1,493	984	800
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	1,091	1,319	1,493	984	800
前年度からの繰越額 (d)	0	232	301	456	284
支払済額 (e)	859	1,250	1,339	1,155	811
翌年度繰越額 (f)	232	301	456	284	274
うち未契約繰越額 (g)	156	148	108	213	91
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	14.3%	9.5%	6.0%	14.8%	8.4%
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由	用地買収の交渉において不測の日数を要し、用地取得が遅延したため。	-	-	関係機関との協議に日数を要したため	-

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

社会資本総合整備計画 参考図面



計画の名称	14 命と暮らしを守るインフラの整備・補修による安心・安全な生活空間の確保 (防災・安全)			交付対象	青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、むつ市、つがる市、平内町、今別町、蓬田村、外ヶ浜町、鯉ヶ沢町、深浦町、西目屋村、藤崎町、大鰐町、板柳町、鶴田町、中泊町、野辺地町、七戸町、おいらせ町、東通村、三戸町、南部町、階上町、新郷村、三沢市、田舎館村、横浜町、大間町、佐井村、東北町、田子町
計画の期間	平成 26 年度	～	平成 30 年度		

北上地域県民局地域整備部管内図 その1

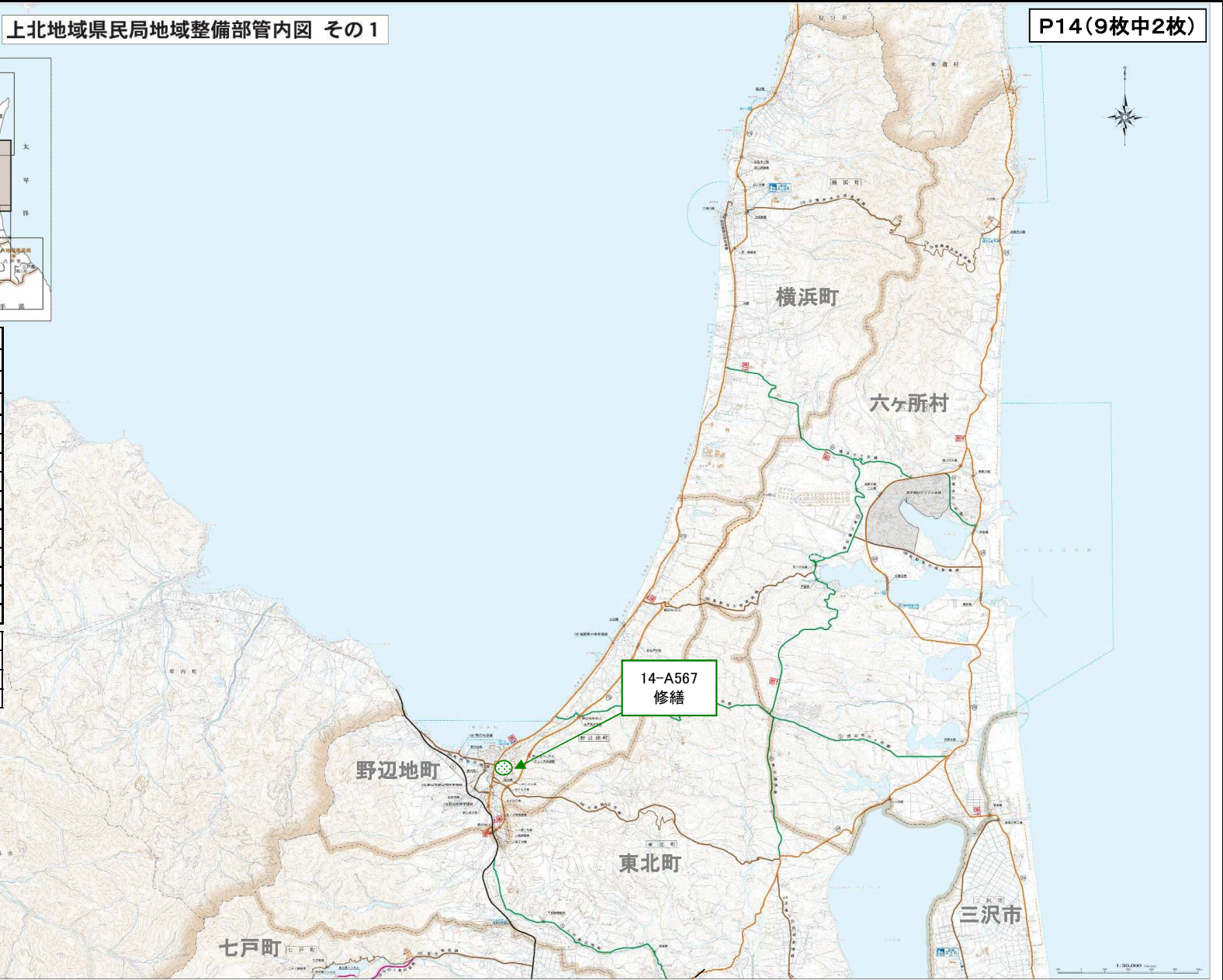
P14(9枚中2枚)



A 基幹 事業	改築・特改	バイパス・現道拡幅・舗装新設	○	
		橋梁架替	○	
		電線共同溝	□	
		代行	△	
	交 安		歩道等(踏切・路肩改良含)	○
			視距改良	□
			交差点改良	△
			電線共同溝	×
	修 繕		照明灯・標識・防護柵	◇
			舗装補修	○
		災害防除	□	
		橋梁補修	△	
	路肩整備	×		
B	関連社会資本整備事業		○	
C	効果促進事業		○	

A	基幹事業	防雪	○
		凍雪害	○
B	関連社会資本整備事業		—
C	効果促進事業		○

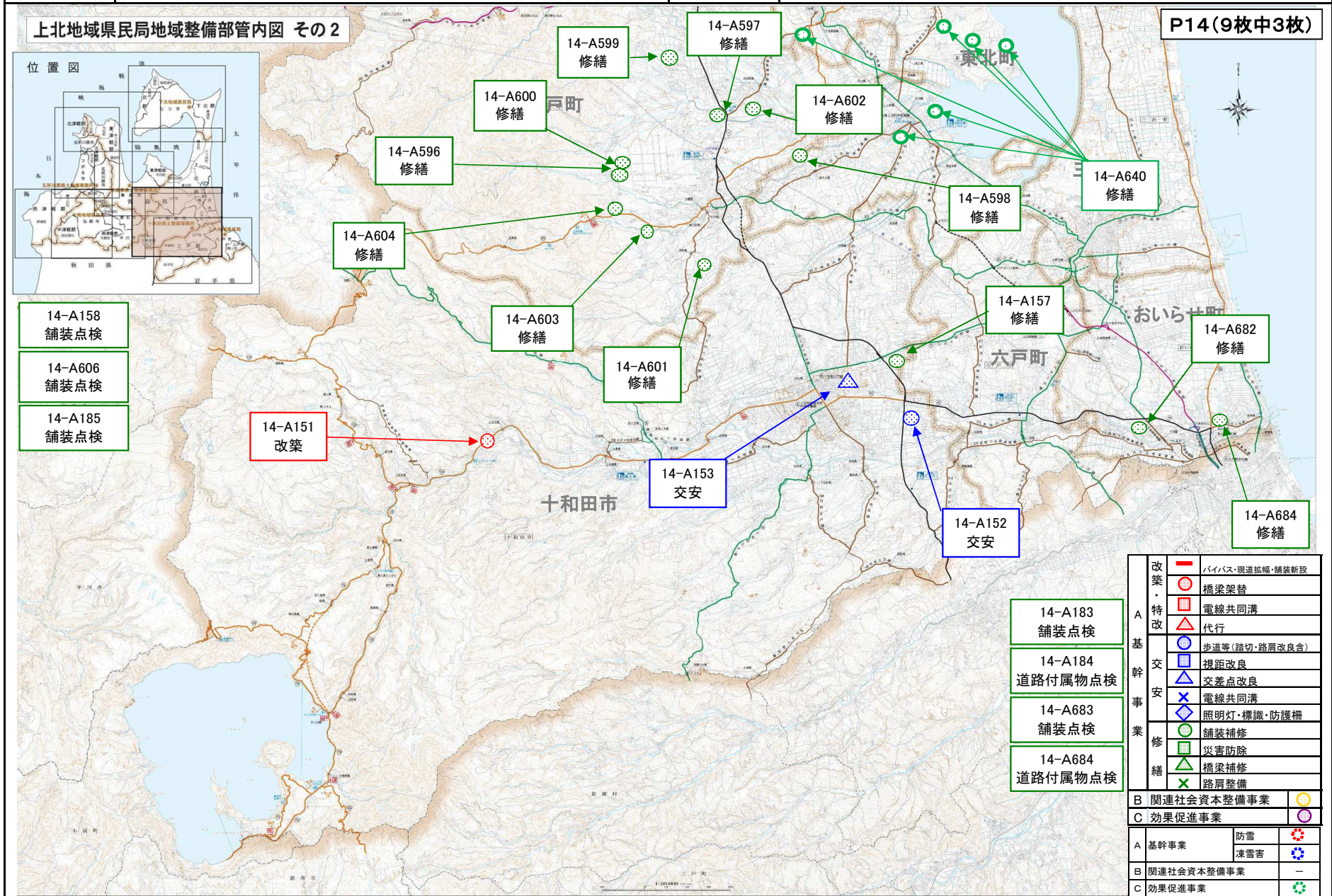
- 14-A569
舗装点検
- 14-A570
法面・盛土・擁壁等点検
- 14-A571
道路付属物点検
- 14-A631
舗装点検

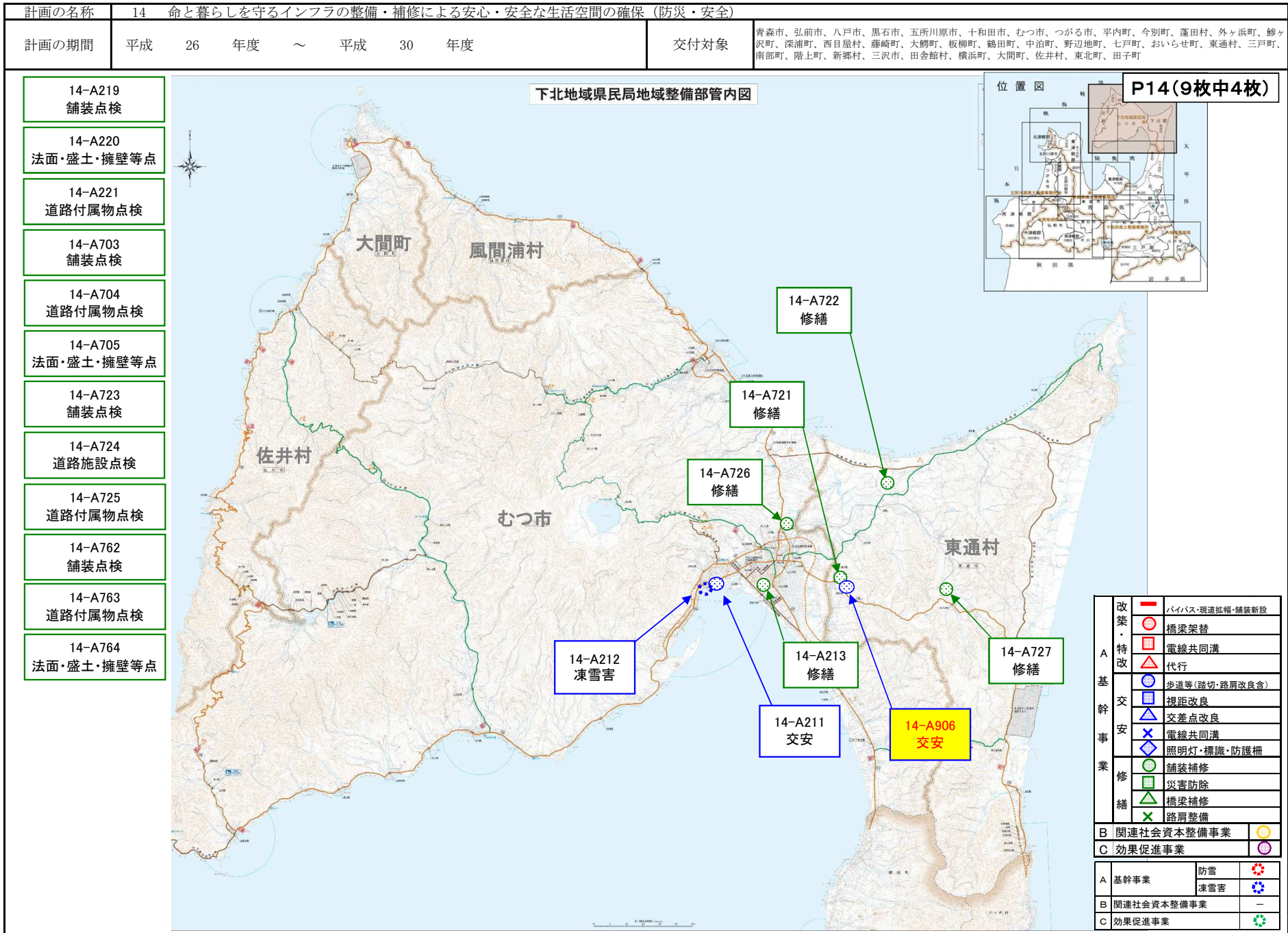


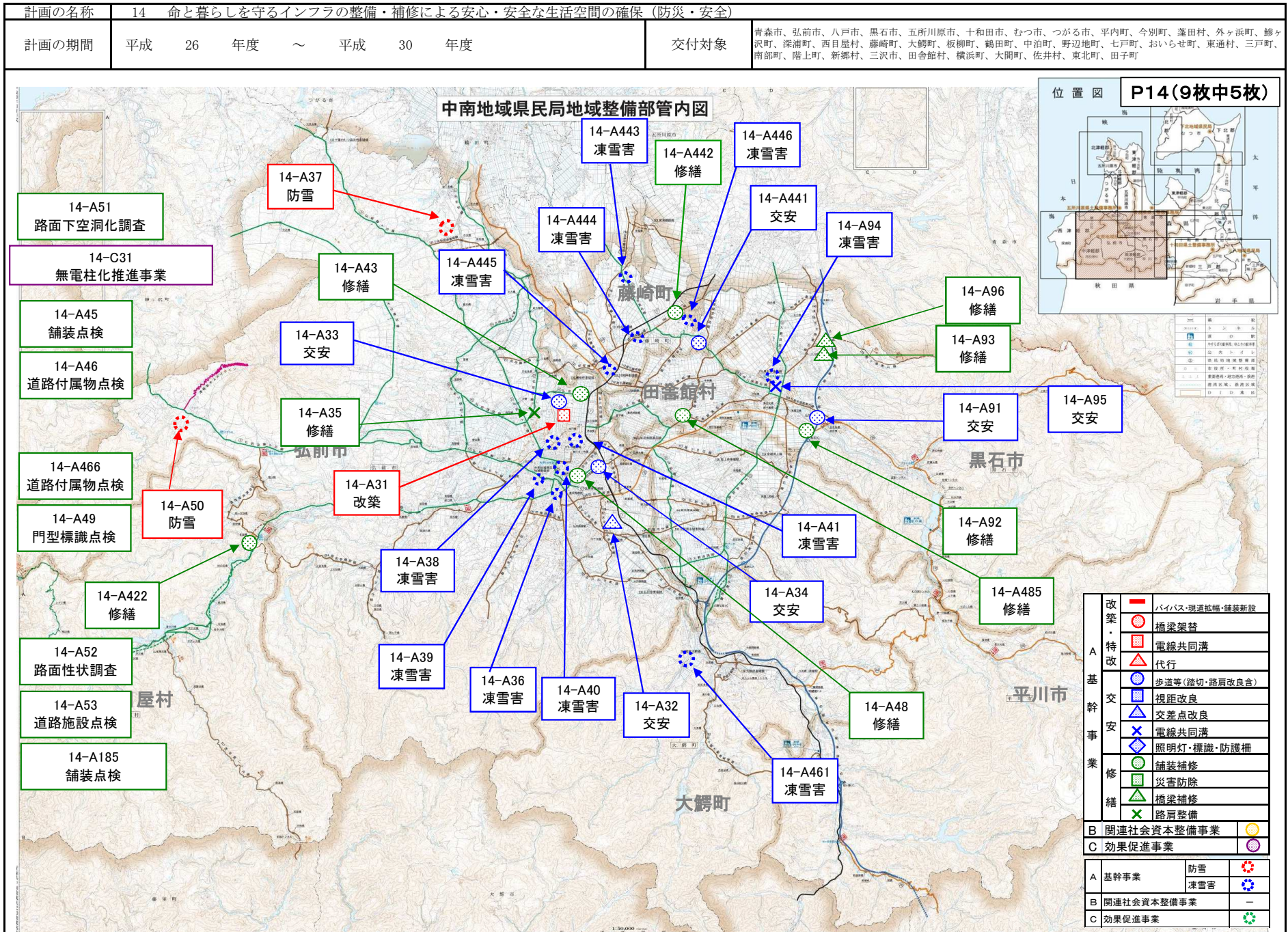
(参考様式3)

社会資本総合整備計画 参考図面

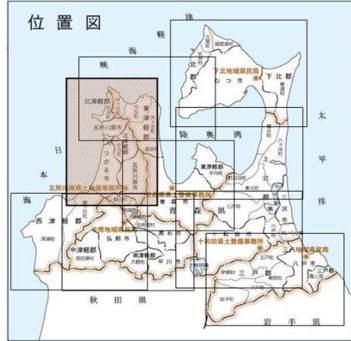
計画の名称	14 命と暮らしを守るインフラの整備・補修による安心・安全な生活空間の確保 (防災・安全)		
計画の期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度	交付対象	青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、むつ市、つがる市、平内町、今別町、蓬田村、外ヶ浜町、鯉ヶ沢町、深浦町、西目屋村、藤崎町、大鰐町、板柳町、鶴田町、中泊町、野辺地町、七戸町、おいらせ町、東通村、三戸町、南部町、階上町、新郷村、三沢市、田舎館村、横浜町、大間町、佐井村、東北町、田子町







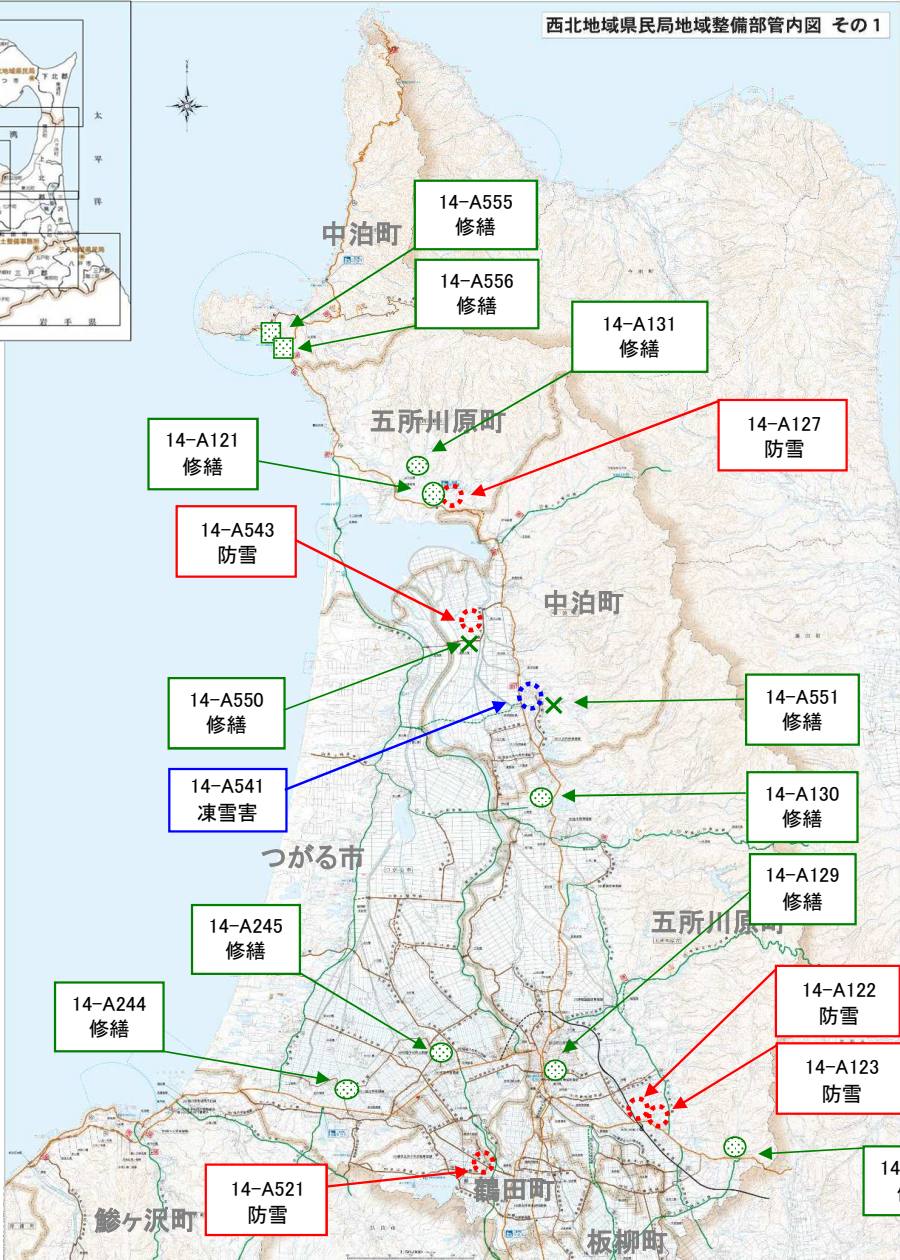
計画の名称	14 命と暮らしを守るインフラの整備・補修による安心・安全な生活空間の確保 (防災・安全)		
計画の期間	平成 26 年度	～	平成 30 年度
交付対象	青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、むつ市、つがる市、平内町、今別町、蓬田村、外ヶ浜町、鯉ヶ沢町、深浦町、西目屋村、藤崎町、大鰐町、板柳町、鶴田町、中泊町、野辺地町、七戸町、おいらせ町、東通村、三戸町、南部町、階上町、新郷村、三沢市、田舎館村、横浜町、大間町、佐井村、東北町、田子町		



西北地域県民局地域整備部管内図 その1

P14(9枚中6枚)

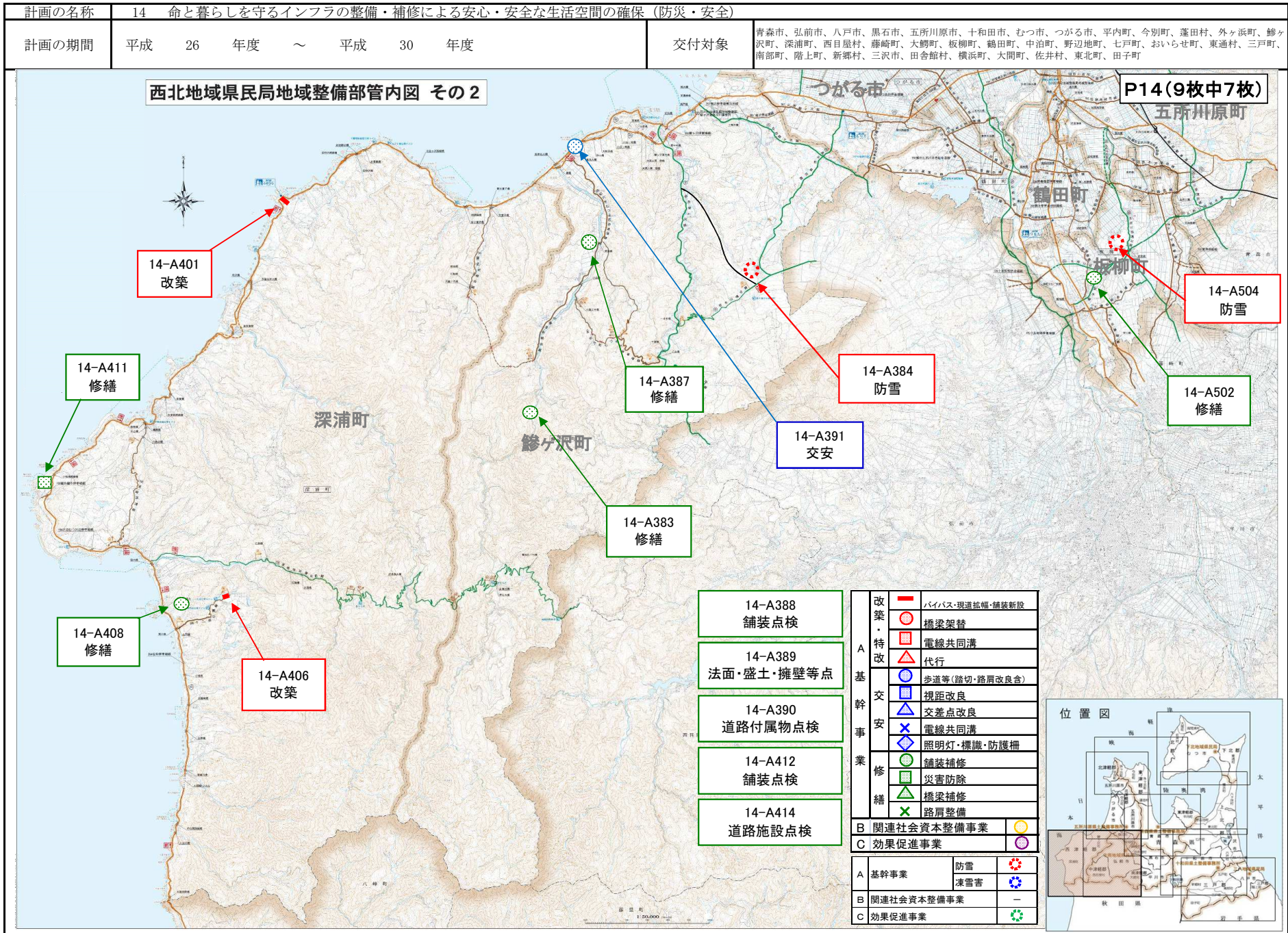
- 14-A522
舗装点検
- 14-A523
道路付属物点検
- 14-A524
橋梁点検
- 14-C126
橋梁点検
- 14-A248
舗装点検
- 14-A249
道路付属物点検



A 基 幹 事 業	改築・特改	バイパス・現道拡幅・舗装新設		
		橋梁架替		
		電線共同溝		
		代行		
	交 通 安 全		歩道等(踏切・路肩改良等)	
			視距改良	
			交差点改良	
			電線共同溝	
	修 繕		照明灯・標識・防護柵	
			舗装補修	
		災害防除		
		橋梁補修		
		路肩整備		
B	関連社会資本整備事業			
C	効果促進事業			

A	基幹事業	防雪	
		凍雪害	
B	関連社会資本整備事業		
C	効果促進事業		

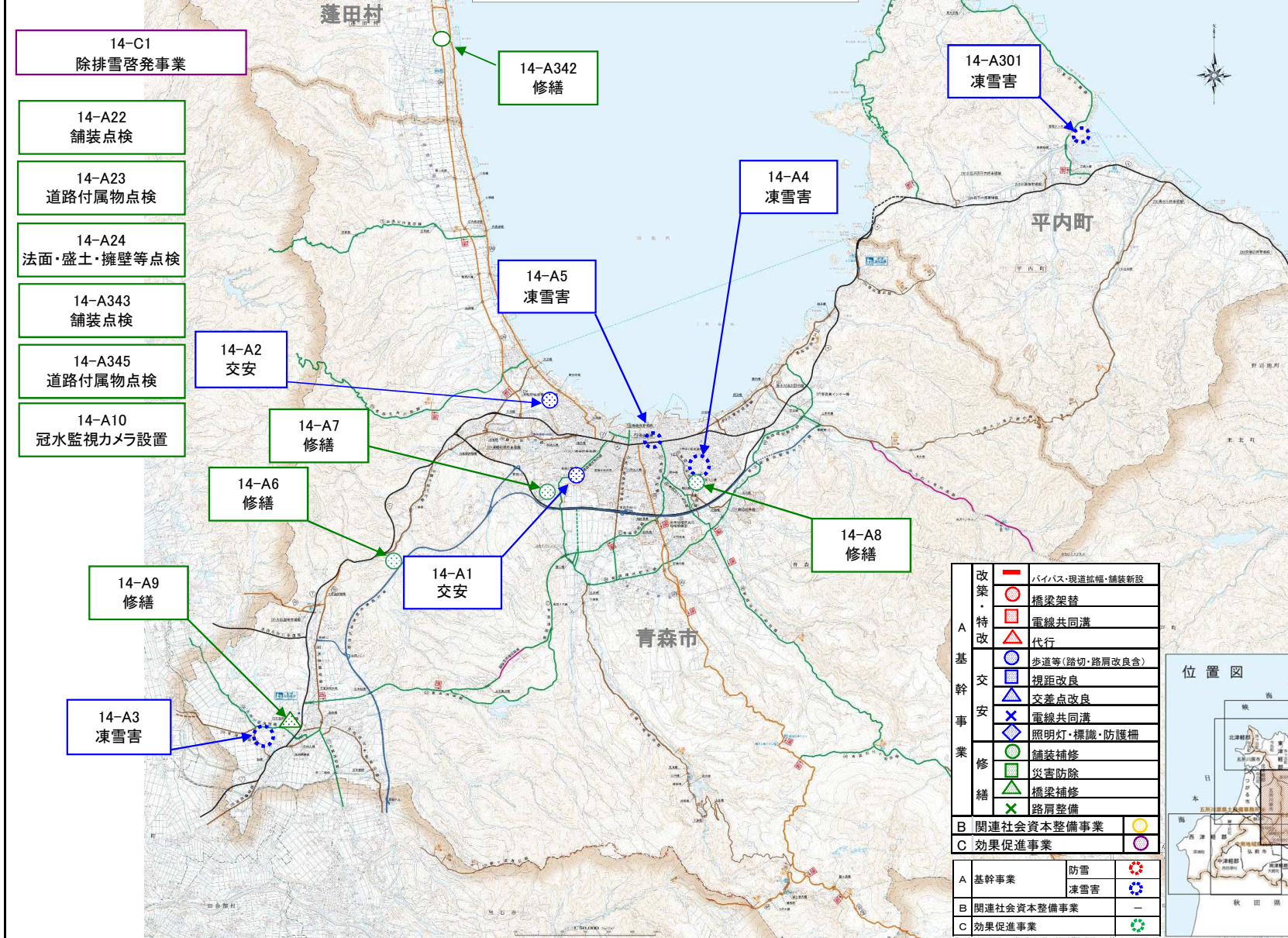
- 14-A132
舗装点検
- 14-A133
道路付属物点検
- 14-A503
舗装点検
- 14-A552
舗装点検
- 14-A553
法面・盛土・擁壁等点
- 14-A554
道路付属物点検



計画の名称	14 命と暮らしを守るインフラの整備・補修による安心・安全な生活空間の確保 (防災・安全)		
計画の期間	平成 26 年度	～	平成 30 年度
交付対象	青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、むつ市、つがる市、平内町、今別町、蓬田村、外ヶ浜町、鯉ヶ沢町、深浦町、西目屋村、藤崎町、大鰐町、板柳町、鶴田町、中泊町、野辺地町、七戸町、おいらせ町、東通村、三戸町、南部町、階上町、新郷村、三沢市、田舎館村、横浜町、大間町、佐井村、東北町、田子町		

P14(9枚中8枚)

東青地域県民局地域整備部管内図 その1



14-C1
除排雪啓発事業

14-A22
舗装点検

14-A23
道路付属物点検

14-A24
法面・盛土・擁壁等点検

14-A343
舗装点検

14-A345
道路付属物点検

14-A10
冠水監視カメラ設置

14-A2
交安

14-A7
修繕

14-A6
修繕

14-A9
修繕

14-A3
凍雪害

14-A342
修繕

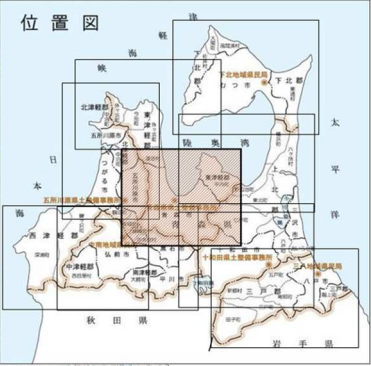
14-A5
凍雪害

14-A4
凍雪害

14-A8
修繕

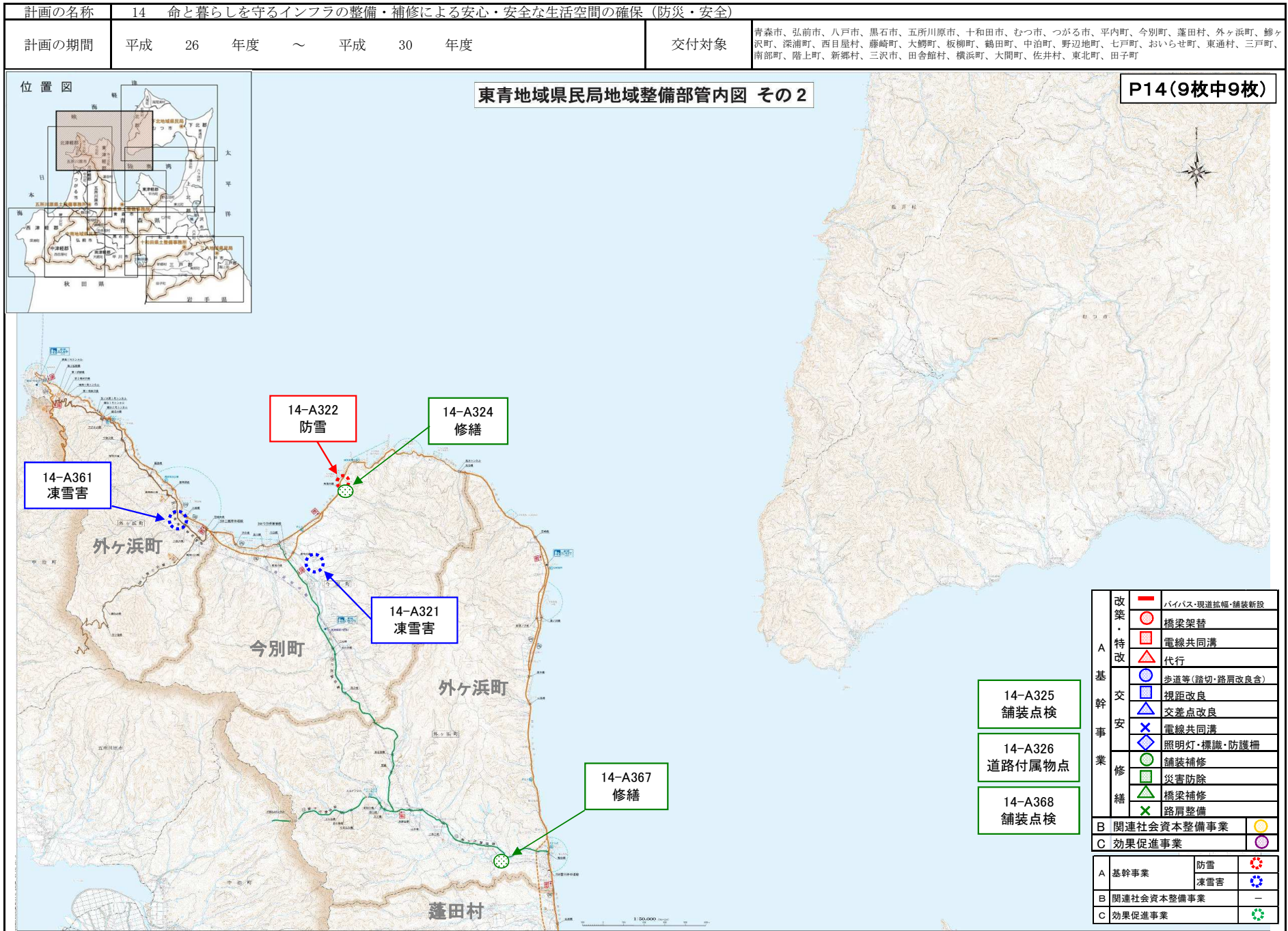
14-A301
凍雪害

改築・特設	■	バイパス・現道拡幅・舗装新設
	○	橋梁架替
	□	電線共同溝
A 基幹事業	△	代行
	◇	歩道等(踏切・路肩改良含)
	□	視距改良
交安	△	交差点改良
	□	電線共同溝
	◇	照明灯・標識・防護柵
修繕	○	舗装補修
	□	災害防除
	△	橋梁補修
B 関連社会資本整備事業	○	防雪
	○	凍雪害
C 効果促進事業		○
A 基幹事業	防雪	○
B 関連社会資本整備事業	凍雪害	○
C 効果促進事業		○



(参考様式3)

社会資本総合整備計画 参考図面



事前評価チェックシート

計画の名称： 命と暮らしを守るインフラの整備・補修による安心・安全な生活空間の確保（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との整合性	
I. 目標の妥当性 市町村総合計画などの上位計画等との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域のニーズ・課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の状況等の現状分析が適切になされている。	○
I. 目標の妥当性 2) 地域のニーズ・課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 3) 客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 関連社会資本整備事業は基幹事業と一体性が確保されている。	
II. 計画の効果・効率性 5) 効果促進事業は基幹事業の効果を高める内容となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果（成果目標の達成）が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○

事前評価	チェック欄
II. 計画の効果・効率性 3) 事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 2) 計画について関係機関、地元住民等の理解が得られているなど環境整備が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 3) 事業評価制度等での必要性・適時性の検証、通学路合同点検などで関係者の合意がなされているものなど、優先度の高いものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 4) 計画的な点検・維持補修を行うもので適時性が確保されている。	○